

おたる 西別院だより

降誕会号



親鸞聖人の像

宗祖降誕会について

浄土真宗を開かれた親鸞聖人は一一七三(承安二)年四月一日(新暦で五月二十一日)、京都伏見の日野の里でお生まれになりました。日野の里では江戸時代からご誕生をお祝いする行事が行われていたようです。京都のご本山においては、一七八四(明治七)年五月二十一日、第二十一代明如(大谷光尊)上人によっていとなまれました。さらに、一八八二(明治十五)年には、「論議」(無量寿会)作法が行われ、普通教校(龍谷大学の前身)では学生がご誕生をお祝いする集いを持ち、明治二十年以降、全国のお寺でも降誕会をいとなむようになり、当小樽別院でもそのころより「宗祖降誕会」をいとなまれ、今日に至っております。

5月20日(日)・21日(月)の2日間は月忌参りをお休みさせていただきます。

宗祖降誕会を迎えるにあたって



輪 番 片 山 晃 英

今年には本願寺小樽別院にご縁を結ぶ多くの皆さんとご一緒に宗祖降誕会のご法要に遇い得ますこと、まことに有り難く喜びに堪えません。

宗祖親鸞聖人は、今から八百二十数年前の承安三年、京都日野の里で、お生まれでしたが、早くご両親と死別されたことが機縁となり、出家得度され、法然上人との出会いによって現在では、国内はもとより、世界各地の有縁の人々から、そのお徳を讃仰されておられます。いつの時代にも、誰とでも、いつも共に生き続けていらつしやる宗祖であるところに「生きた宗祖のお姿」があります。

ことに、私たちに阿弥陀如来のご本願のお慈悲のお救いひとつで、必ず浄土に往生し仏になることをお聞かせにあずかった上からは、ご報謝のお念仏を申す他力回向のみ教えをお示しい

いただきました。

私たちは、この「宗祖降誕会」をご縁として、阿弥陀如来のお慈悲の中に、願われた「いのち」の重さを尊びつつ、このたびのご勝縁に遇い得た喜びと、生かされて生きる幸せをかみしめながら、報恩感謝の中に強く明るく生き抜きたいものであります。

一人でも多くの方々に、このご勝縁にお会い頂きたく重ねて、ご案内申し上げます。

合 掌

2001年(平成13年) 年 回 表

1	周忌	平成12年
3	回忌	平成11年
7	回忌	平成7年
13	回忌	平成1年
17	回忌	昭和60年
25	回忌	昭和52年
33	回忌	昭和44年
50	回忌	昭和27年

八百二十八回 親鸞聖人 降誕会

◆場 所 小樽別院本堂

- ◆日 時
- 5月18日(金)
 - 9:00 双葉高校参拝
- 5月19日(土)
 - 10:00 三園合同参拝
- 5月20日(日)
 - 11:30 初参式
 - 12:00 お齋(うどん・おでん・お茶席)
 - 13:00 稚児行列
 - 13:30 宗祖降誕会
 - 法話(降誕会に引き続き)
 - お楽しみ会(法話に引き続き)
 - 14:30 子供ゲーム大会(若松一丁目会主催)

※受付にて記念品をお渡し致します。
※書・絵 展示(18日~20日)

別院フォトクラブ 特別編



▲奥沢説教所 樹心会、親睦の集い



▲仏教壮年会例会



▲婦人会 降誕会のお手伝い



▲別院スカウト泊舎営



▲新光説教所 親睦旅行(登別にて)



▲おつとめ教室



▲婦人会 お茶サークル



▲仏教青年会のみなさん



▲奥沢説教所 唯信講の会員の皆さま

次回もお楽しみに。

全葬連 加 盟 店
全霊協

小樽典礼(株)

稲穂3-4-1 TEL 27-1801

21世紀のライフステージを創造する

特定建設業・一般建築士事務所

福島工務店
株式会社

代表取締役社長 福島正紘

本社/小樽市若松1丁目7番18号
TEL (代) 23-3542
FAX 33-2442

お稚児さん 募集

今年も、20日(日)の降誕会法要に先立ち稚児行列をとり行います。対象は三歳以上の幼児で、参加費は無料です。

このご縁にご家族一緒に、降誕会法要に足を運んでください。申し込み等詳しいことは、別院までお問い合わせ下さい。



カブスカウト 募集!

何でも話しあえる友達をつくろう。

活動/毎月1回 土曜日 午後2時~4時

内容/文化しせつの見学、お泊り会。

小学校2年生から5年生の男子、女子を大募集!ぜひ連絡下さい。

TEL 22-0744 担当 温井、村田

●活動内容/文化活動、ボランティア
月1回例会(土曜日・日曜日)
各種レクリエーション
(ボーリング、カラオケ、スキー等)
10代、20代の男女を待っています。
ぜひ気軽によってください。

仏教青年会 会員大募集!

連絡 TEL 22-0744 担当 温井、村田

おつとめ しま専科!

只今、会員さん増殖中!! 伝染あるよ

対象/どなたでもどうぞ。

費用/特に必要なし!

日時/月2回の火曜日午後2時

お問い合わせ/今すぐ別院の磯村まで...

ご案内

お 晨 朝

毎日 午前6時30分

常 例 布 教

毎月7日～11日 午後1時30分
13日～16日 午後1時30分

仏教青年会

毎月1回 午後7時

仏教婦人会

毎月15日 正午(おときあり)

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめしま専科!

毎月2回(火曜日) 午後2時

ボーイスカウト

毎月1回(土曜日) 午後2時

日曜仏教講座

毎月1回(第3日曜日)
午前9時30分

十 九 日 講

毎月19日 正午(おときあり)

各説教所の案内

●奥沢説教所

樹心会 5日 午後7時
唯信講 10日 正午

●若竹説教所

彰心会 7日 午後7時

●緑説教所

無量講 9日 午後6時

●新光説教所

法友会 13日 午後6時



百日参拝の お知らせ

今年も例年の如く晨朝百日参拝を行います。
皆様お誘い合わせの上御参拝下さいませ。

☆5月1日(火)～8月8日(水)☆
毎朝6時半から一時間程度です。

特に申し込みなどは必要ありません。
お気軽にお参りして下さい。

初参式

当別院では、今年も親鸞聖人の
降誕会法要にともない初参式を
とりおこないます。
対象は、生後百日ぐらいから三
歳までの幼児で式は短時間で終わ
ります。記念品等も用意させて頂
いておりますので、お気軽にお申
し込み下さい。お申し込みは、別院
寺務所(TEL二二一〇七四四)、また
は別院職員まで。



●3分間の心のともしび

小樽別院 テレホン法話

24時間
いつでも
どうぞ

TEL 27-1616



十人十声

●心の留めておきたい詩(言葉)



西川 達恵

私達は不思議な縁により人間として生まれ、代わりもらうことのできない、やり直しのきかない命をかされています。人それぞれに色々な願い(欲望)をもち、願いの一つが満たされても、これで満足ということがなく次々に求める心がおこってきます。そして求めるものが自分の思うようにならないと、他の人に不満をもらしたり、愚痴をこぼしたりいたします。又、自分自身の生活を振り返ってみるとき、思うようになることより、思うようにならない事のほうが多く、色々なあやまちや失敗もしてきました。ブッシュ・孝子さんの詩を紹介し「あやまちは誰でもする つよい人も弱い人も えらい人も おろかな人も あやまちは人間をきめない あやまちはあなが人間をきめる あやまちは重さを自分の肩に背負うか あやまちからのがれて次のあやまちをおかすか あやまちは人生をきめない あやまちはあなが人生をきめる」又、金子大栄先生の言葉に「やり直しのきかぬ人生であるが 見直すことができる」どちらも、心に留めておきたい詩(言葉)です。

●「今日という一日」



武藤 二孝

私たちは、毎日の生活の中で忙しく暮らしています。そして、今日もいつも同じように、東から太陽が昇り、西に沈んでいくのだと何気なく思っているようです。しかし、よく考えてみると、今日という日は私の人生に一度しかないのです。これを仏教では無常といっています。無常とは、単に「はかなさ」ということではありません。それは、ものあり方の本当の姿をそのままいった言葉です。今日という日が、同じ形では繰り返せないからこそ、一日一日を怠りなく精進しなければならぬのでしよう。お一人様、一回ポッキリの人生です。合掌

●物でない、心の時代



村上 隆昌

「成人した孫たちがいつしよにおつとめしてくれません。」という御門徒がおります。現代は特別に「物でない、心の時代だ」と叫びながら、経済中心の生活にどっぷりとつかっています。その心と言っているものも、実はどつちが大きいかという不平等記号を無意識のうちにつけてしまっている経済の心です。その心は、善悪、損得、吉凶、禍福、健康、病気などで迷っている心です。たとい、一族みんなが形の上で同じ宗教、同じ本尊(依りどころ)を拜んでいても、ひとたび父親が亡くなりその遺産相続の問題でも起こりますと、親子、兄弟姉妹一人々がバラバラという姿があります。「歎異抄」第六章で、親鸞聖人は唯円房に「私は弟子一人ももちません。私は四十歳上のよき人、師法然上人の歩まれた道を仰

ぎ、教えを聞いていくだけです。そのまた師である七高僧はじめ、たくさんの仏さまのご苦勞によつて、私のところまで仏の教えを届けてくださった。そのご恩を憶念しながら(真宗の念仏)と、おこたえになつていきます。聖人は決して私どもに面と向かつて教えを聞けとはおっしゃいません。いつもご本尊に向かっていらつしやいます。あなたも子や孫の方に面と向かうのでなく、そのあなたの姿や、教えに照らされて、毎日の暮らしの中で出てくることばが、お孫さんたちを経済中心の宗教から、無量寿のはたらきを本尊とした真実の宗教へ、自然に導いていくのではないのでしょうか。合掌

●帰省回顧録



磯村 真一

小樽に赴任して六年が経った頃(二年前)、友人から一本の映画を勧められた。題名は「カメラ3」、今更怪獣映画なんて…と、思いながらもレンタルで観て、凄いの一言！何が凄いつて？映像、効果音、音楽、一昔前の怪獣映画とは比べ物にならない。特にラストでカメラが近代的な建物を壊すシーンは圧巻。どこだろうと思っていると、「京都駅」の文字が…(えっ？これ本当に京都駅なの？六年前と全然違うんだけど…)それから間もなくのことでした、初めて帰省したのは…関西空港から特急「はるか」で京都駅を下車。それからが大変、ここは何処？(まさか、故郷で迷子？)うろろろしていると、見たことのあるフロアに出たんです。人混みの中、腕組みをして建物を見上げ、思わず叫んだ。「ここかあ、カメラが壊した建物は！」(ああ、恥づかしかったあ)

●もつたない



梶 純信

米国の大統領であったフーバーという人に次のような逸話があるそうです。第一次世界大戦当時食糧管理当局総裁であったフーバーは国内を駆けまわつて贅沢に慣れた米国人に対して食糧節約の講演をしたそうです。その際、「日本人には昔から『もつたない』という思想がある。『もつたない』ですべてを頂いて物を粗末にしない。食物も『もつたない』で頂く。この『もつたない』という言葉は米語にはない。だから訳されない。」そういつて彼は「もつたない」を日本語で言つたといわれています。蓮如上人御一代記聞書にも「私達の身のまわりにあるものすべて阿弥陀如来の世界からの贈り物だから、蓮如様は、自分の衣服でも足に当たつたりすると『もつたないことだ』とおしいただかれた」という話が残されています。物質的に豊かな今の時代に生きる我々はこの「もつたない」を忘れていないでしょうか。よく考えさせられるところです。

●お念仏には損得なし



温井 卓生

私達は何をしても、した以上は何か得るところがなければと、すぐに結果を求めてしまいます。おつとめをすれば何か得があるのか、念仏すればどういう利益があるのかと、おつとめする前に損得を考え、念仏申す前に利益を考えます。蓮如上人の時にも、これと似た話があります。ある人が「朝夕、正信偈和讃にて、念仏もうすは、往生のたねになるべきか、なるまじきか」と問いますと、それを聞いていた人たちの意見は真反対に分かれました。蓮如上人は、それを聞いて「正信偈和讃は衆生の弥陀如来を一

念にたのみまいらせて、後生たすかりませとの、ことばりをあそばされたり。よくききわけて、信をとりて、ありがたやありがたやと、聖人の御前にてよろこぶことなり」と話されました。どういふことかといふと、阿弥陀如来のお心に遇つたことをよるこぶのおつとめなのです。ですから、おつとめをしたら往生するというのも、反対にしないというのも間違っていますよと、蓮如上人は、私達にいわれたのです。

●自らを問う



先日の新聞で小樽の葬儀事情についての記事がでていました。最近「私は無宗教です」とか、「宗教にはこだわりません」とかいう人が増えているそうです。「人間に宗教は必要であるのか」と問う人がいますが、これはおかしいことですよ。宗教をもっているものこそ人間なのです。宗教とは自分を問うてみるものです。動物は、自分の命や人生について問うことはできません。人間と動物のちがいはまさに宗教をもつかどうかの問題なのです。今日日本がおかしくなっています。忙しい忙しいと言いな

日野 尊行

●「絶対の安心の世界」



村田 法道

から、「忙」の字のごとく心を亡めています。今こそ自分をふりかえり、亡つた心を取り戻さなければならぬのではないのでしょうか。

親鸞聖人は「他力といふは如来の本願なり」とお示しになられています。また反対に自力については、「自力といふは、わが身をたのみ、わがころをたのみ、わが力をはげみ、わがさまさまの善根をたのみ」となり。自力の道は、修行の多少、能力の優劣によつて違ふでしょう。しかし阿弥陀の本願力では、どうしても自分というものを変わらない自我であるかのように思いこみ、はからいの心を捨てきれず、無明に生きる私を自当としてほたらいてくださるのです。

他力は仏よりのはたらきかけですから、みな同じであり、したがって誰もが等しく救われていく身にかけて頂くのです。私の能力や努力の結果によつてではなく、私のいのちそのままをかけがえないいのちと明らかにしてください。阿弥陀の大悲に抱かれて、私たちは不安のない絶対

●退任の挨拶



中島 賢潤

この度、三月一日付をもって兵庫の神戸別院へ転勤することになりました。わずか二年二月余りの御縁でございましたが小樽別院の職員、門信徒のみなさまには何かとお世話になりました。どう

ございました。別院では外勤として、やつと住所と場所を覚え、門信徒のみなさんにお念仏の心が広まっている所なのに、個人的な都合で人事異動となりましたこと、心のこりでございます。この小樽での御縁を新たな任地で活かしたいと思っております。ここに感謝の意をこめて転任の挨拶とかえさせていただきます。ありがとうございました。 合掌

●就任の挨拶



阿部 慶剛

皆様におかれましては、慈光照護のもと、日々ご健勝にてお念佛相続の事とお慶び申し上げます。

この四月より小樽別院の方へ新入職員として着任させていただきます。何分勉強不足のため、至らぬ点が多々あるとは思いますが、精一杯頑張りますので、皆様の温かいお心でお育てにあずかればと考えている所存でございます。どうぞ宜しくお願い致します。 合掌

の安心の世界に生かされているのです。

●ダメージを与えるタバコ



相馬 早苗

最近、どこへ行っても禁煙という言葉を目にしますが、何故どのようにタバコが体に悪いのかを調べてみました。

まず、人が生命維持に欠かせないのが、約四十種類の栄養素ですが、その中のビタミン・ミネラルが不足してしまうと、三大栄養素である炭水化物・タンパク質・脂質をいくら十分に取ってもその力を発揮することが出来ません。ですから、脇役であるビタミン・ミネラルも十分に取る必要があります。これらの栄養素は体の中で作ることが出来ませんし、特にビタミンは熱や光等によつて簡単に破壊してしまうのです。その代表格といえるのがタバコです。ビタミンCの一日の摂取量は百mgですが、タバコを一本吸うと体内で約二十五mg(毎分約一個分・レモンで約四分の一個分に相当)のビタミンCが減ります。また、喫煙者がいる環境で生活している人も同様です。ですから、タバコとの縁が切れない

●思い込み



渡部 恵

こんな、文章を目にした。「思い込みとは、それがいかにもつともらしいので、勝手な思い込みでその人を見てしまう。」

私の場合ですと、ほんの些細なことですが、こんな事がありました。ある方の名字を漢字で書いておりましたところ、読みは同じなんです。字が間違っておりました。一般的に多い字でしか印象になかったため、間違っていることにすら全然気が付きませんでした。こんな、ちよつとした事でも、一つの思い込みなのでは？と思ってしまう。

確かに、実体のない噂話でも、耳にしたことによつて、知らず知らずのうちに思い込んでしまっているような気がします。注意しなければいけない事なのではないかと改めて思いました。

猪口 大悟



東京から参りました山陰教区浜田組超証寺の猪口大悟です。若輩にして浅学な身ではありますが、早く宗務員輪袈裟を着けるに相応しい一人前の宗務員となれますよう全力を尽くす所存ですので御指導・御鞭撻のほどをよろしく願ひいたします。

念仏者として修学・聴聞と布教に取り組み、ご門徒の方々ひとりひとりとの出会いを大切にしていきたいと思ひます。

合掌

小樽幼稚園です。



4月10日(火)
入園式



天候に恵まれた平成13年度の入園式。期待と不安で胸一杯のかわいらしい27名の新入園児が、お父さんやお母さんに手を引かれて登園してきました。中には初めて会う先生や友達にドキドキしている子もいましたが、いざ入園式が始まると、おうちの人に手を振りながら堂々と入場し、小さな手を上手に合わせてみ仏様におまいりしました。

園長先生のお話をうなずいて聞いたり、「元気に来て下さいね。」とのお言葉に「ハイ！」と手をあげたりと、微笑ましい姿が見られました。

★5月からは、お弁当・預かり保育(午後5時迄)・プール遊びが始まります。

★その他にも 花まつり・降誕会・報恩講・誕生会・遠足・運動会・海水浴・お遊戯会・おもちつきなど
楽しい行事がたくさんあります。

● 小樽幼稚園 若松1丁目4番17号 TEL 0134-22-6536 ●